

第 1 回『大阪技術者みらい塾』のご案内

～何が同じ？ 何が違う？ 都市型NATM v.s. シールド～

このたび近畿本部建設部会では、第 1 回『大阪技術者みらい塾』を下記のとおり開催する運びとなりました。『大阪技術者みらい塾』では、施工事例を用いて設計・施工の問題点を洗い出し、さらなる改善点について受講者の皆様と議論する「受講者参加型」の講演会です。（講演概要参照）
みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

※まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

- 主 催 : 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 建設部会
【土木学会 CPD プログラム, 全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラム認定】
- 特別協賛 : 株式会社久本組, 第一設計監理株式会社
- 日 時 : 平成 29 年 4 月 22 日 (土) 13:00~17:00 (16:10~17:00 懇親会)
- 場 所 : 国民會館 武藤記念ホール (大阪市中央区大手前二丁目 1 番 2 号) 12 階
- 募集定員 : 60 名 (会員 40 名, 非会員 20 名)
- 講 師 : 金井 誠氏 (株式会社大林組 顧問)
- 参加費 : 2,000 円 (会員 1,000 円), 懇親会費別途 2,000 円
- 申込期限 : 平成 29 年 4 月 18 日 (火) ※定員になり次第締め切ります。

第 1 回『大阪技術者みらい塾』 参加申込書

平成 年 月 日

【懇 親 会】 : 参 加 ・ 不 参 加

【建設部会員】

氏 名	
所 属	
E-mail	

【建設部会員以外の方】

氏 名	
所 属	
連絡先 TEL	
E-mail	
<input type="checkbox"/> 技 術 士 (部門: 建設 / 会 員 ・ 非 会 員) <input type="checkbox"/> 技 術 士 補 (部門: / 会 員 ・ 非 会 員) <input type="checkbox"/> 修 習 技 術 者 <input type="checkbox"/> そ の 他	

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部建設部会幹事長 河野千代

E-mail : kouno@hisamotogumi.co.jp

FAX : 06-6692-0478 TEL: 080-2483-7646

公益社団法人日本技術士会
第 1 回 『大阪技術者みらい塾』
～何が同じ？ 何が違う？ 都市型NATM v.s. シールド～

講師 金井 誠 氏

株式会社大林組 顧問
工学博士・技術士



【略 歴】

1973 年 大阪大学大学院修了 株式会社大林組入社

1976 年 スタンフォード大学大学院留学

(Infrastructural Engineering Management)

入社後 3 年間を大阪でシールド&開削トンネル工事に従事。米国留学後、土木技術部で 4 年間現場支援と技術開発、その後 5 年間を大阪でシールドトンネル工事に従事。1988 年より 4 年間、東京湾横断道路（株）に出向し設計業務担当。以後、東京湾横断道路木更津南トンネル工区、首都圏外郭放水路第 1 トンネル工区の所長。2001 年より東京土木事業部工事部長、2003 年より副事業部長、2005 年より役員。

2007 年 常務取締役 土木本部長

2009 年 専務取締役

2011 年 代表取締役 副社長執行役員

2015 年 特別顧問

2016 年より顧問、現在に至る

【講演概要】

施工中のトラブル・失敗に直面した時、事象観察と論理的推論に基づいて被害の拡大抑制・復旧方法を策定・実施することは技術者の責務であるが、同時に再発防止に向け間接的要因と直接的原因を追究することが技術者の資質向上には不可欠である。事象・施工データを時系列で整理し、土質力学・水理学・構造力学などの基礎知識に経験工学的知恵を加味しロジックを忘れずトラブル・失敗のシナリオを組立てることで真の原因が見えてくる。

今回は、トンネル構築法である“NATM”と“シールド工法”について、その原理や設計思想・施工法を受講者が事前に調べておくことに加え、トラブル事例(受講者には関連資料の情報を事前通知)にも目を通し受講者自身の考えを纏めた上で議論に参加し全員で原因を追究する。

類似施工法の“同じ所”と“違う所”を技術者として認識しておくことが、企画・計画～調査設計・施工計画～施工の段階で、工事の安全・品質・工期・工費の最適化とトラブル・事故防止に繋がる。